

第10回

2013年度

小学生のぼうさい探検隊
マップコンクール
入選作品集

The 10th anniversary



ご・あ・い・さ・つ



小学生のぼうさい探検隊マップコンクールは、今回で10回目を迎えました。
本年度も、47都道府県の449もの学校・団体から、過去最多となる2,191点のマップの応募がありました。

今回、防災をテーマとした作品の中では、台風や豪雨による水害や土砂災害など、昨年も全国各地で大きな被害が発生いたしました自然災害を、身近に起こりうる危険として認識し、危機意識を持って対策を考えている作品が本当に多くありました。また、県や市など地域全体でマップ作りに取り組んでおられる事例がいくつもあり、地域ぐるみで防災・安全教育の推進を行うという「安全で安心なまちづくり」に向けた積極的な姿勢が強く感じられました。

どの作品も、自分たちが住む町に潜んでいる様々な危険や問題をしっかりと把握したうえ、地域の住民や消防・警察の方々にインタビューを行って対策を考えるなど、本当にチーム一丸となって取り組まれた作品ばかりでした。よって、入選作品の選考にあたっては、審査員の方々も相当頭を悩まされたと伺っています。

今回、ご応募いただいた皆さまには、これからも「危険から身を守るためにはどう行動したら良いのだろうか？」そして「安全で安心な町にしていくためには、どう取り組めば良いのだろうか？自分には何が出来るのだろうか？」ということをいつも思い続けていただきたいと思います。

そして、指導にあられた先生方や団体の皆さまには、子どもたちに地域への関心、また、安全と安心への意識を持ってもらえるよう、大変熱心にご指導をいただいたと感じています。また、そのことがどの作品からも強く感じられました。この場をお借りして感謝申し上げます。

リスクに対する感性やセンスというものは、小さい子どもの頃から身に付けておくべきものだと考えています。社会人になってからも、個人の生活のうえでも、また、企業の経営等においても、様々な形で私たちはリスクに取り囲われている訳ですから、それらに対する感性やセンスを磨いておくことは本当に大事なことだと思っています。

今後も、防災・安全教育の普及に向けて、一層努力をして参る所存でございますので、引き続き、関係者の皆さま方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、この活動にご賛同いただき、惜しめないご協力を賜りました政府機関、関係団体の方々、マップコンクールにご参加をいただいた方々、すべての皆さまにお礼を申し上げますとともに、この活動が今後のより良い地域社会づくり、また、安全で安心な未来に貢献していくことを心から祈念しています。

2014年2月

一般社団法人 日本損害保険協会

会長 ふたみや まさや 二宮 雅也

主催

一般社団法人日本損害保険協会／朝日新聞社／特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク

後援

内閣府／文部科学省／警察庁／消防庁／気象庁／UNESCO／日本ユネスコ国内委員会／日本ユネスコ協会連盟／
全国都道府県教育委員会連合会／アジア防災センター



目次

The 10th anniversary

第10回

2013年度

小学生のぼうさい探検隊マップコンクール

- 審査の様子 2p
- 応募作品の傾向 3p
- 表彰式・審査総評 4～5p
- 入選作品紹介 6～23p
- 応募状況 24～27p
- 過去の入選一覧 28～29p



「ぼうさい探検隊」とは…



子どもたちが楽しみながらまちを探検し、
 まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見して
 マップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、
 発表を通して活動を振り返り、学んだことを皆で共有します。
 子どもたちの「安全・安心への意識」が高まるだけでなく、
 まさに「地域ぐるみの安全“共育”」が着実に深まり、
 コミュニティの強化にもつながります。

審 ■ 査 ■ の ■ 様 ■ 子

2013年度のコンクールでは、全国47都道府県の小学校や子ども会など449校・団体から過去最多の2,191作品もの応募があり、厳正なる審査を重ねた結果、入選15作品を決定しました。

審査員の方々からは、「それぞれの作品に良いところがあって、どれも甲乙つけがたい」「どの作品からも、児童や地域の方々の思いがひしひしと伝わってきて、選ぶのが本当に難しい」といったご意見・ご感想をいただいています。

審査日程

事務局審査：2013年11月18日(月)～26日(火)

第一次審査：2013年11月28日(木)

本審査：2013年12月11日(水)

結果発表：2013年12月18日(水)

本審査の様子



本審査員

むろさき よしてる
室崎 益輝 氏

神戸大学名誉教授・兵庫県立大学特任教授（審査員長）

さとう ひろき
佐藤 浩樹 氏

文部科学省 スポーツ・青少年局学校健康教育課 安全教育調査官

よっかいち まさとし
四日市 正俊 氏

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）

あかまつ としひこ
赤松 俊彦 氏

消防庁 国民保護・防災部 防災課長

ほりお たか
堀尾 多香 氏

文部科学省国際統括官付 日本ユネスコ国内委員会事務局 ユネスコ協力官

もりた りょうへい
森田 良平 氏

朝日新聞社 ブランド推進本部 CSR 推進部 部長

てらもと ひろのぶ
寺本 弘伸 氏

特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事

ふかだ かずまさ
深田 一政 氏

一般社団法人 日本損害保険協会 常務理事

応 ■ 募 ■ 作 ■ 品 ■ の ■ 傾 ■ 向

審査基準

- 地域性・テーマ性**……地域の災害や危険な場所を想定した作品作りができているか
地域災害の特性や問題点などが明確になっているか
- ビジュアル性**……色や写真、イラストを効果的に使用しているか
多くの人に見やすく、わかりやすい作品になっているか
- 提案性**……子どもならではの発見やまちへの提言が書かれているか
マップを通して伝えたいことが明確になっているか
- 教育効果性**……マップを作成するにあたり、しっかり地域を調べているか
地域住民とのコミュニケーションなどにより、多くの人から学んだ姿勢が見えるか

● 地域性・テーマ性（地域災害の特性や問題点など）

- 昨年度に引き続き、「防災」をテーマとした作品が全体の半数を占めている。
- 地域の名産品や名所旧跡等を調べて盛り込んだ作品が昨年より増えている印象にある。
また、地域の避難所や海拔、土砂災害の危険箇所等、「その地域ならではの特徴」に焦点を当てた作品も多く見られた。
- 防災をテーマとした作品の中では、今年度は特に豪雨に関連した土砂災害や台風の被害について調査した作品が多く見られた。
- 防犯をテーマとした作品の中では、普段の遊び場である公園や学区内の暗い道など、児童自身の生活に密着したエリアを深く調べた作品が目立った。
- 交通安全をテーマとした作品の中では、通学路を調べて危険箇所を指摘した作品や、自転車の安全な乗り方を呼びかけた作品が目立った。

● ビジュアル性（地図としての工夫など）

- 実施キットの内容物に加えて、色紙やフキダシ型ふせん等を使うことで、「調べたことをわかりやすく伝えよう」という意識が伝わってくる作品が増えている。
- カラフルな色使いだけでなく、色使いや体裁に規則性を持たせることにより、さらに見やすい工夫がされた作品も多く見られた。
- ビジュアル面で目を引く作品は、地図を中心に据えて丁寧に描き込みをしていたり、地図そのものが隠れないようにレイアウトを工夫したりというように、「地図として見やすく伝わりやすいか」という点に配慮しているものが多かった。

● 提案性（子どもの視点でのまちへの提言など）

- 調べたことをそのまま記載するのではなく、さらに一歩進めて「なぜ危ないのか」「どうすれば安全になるか」まで調べた作品の割合が高まっていると感じる。
- インタビューやアンケート等を裏づけにして、児童自らが考えた改善や地域住民への呼びかけを盛り込んでいる作品からは、強い提案性と説得力が感じられた。

● 教育効果性（子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化など）

- 低学年と高学年の混成チームで活動したというケースや、中学生・高校生がリーダー役として参加しているケースも多く見られた。こうした作品の中では、年齢層に応じた役割分担が行われており、高い教育効果が感じられた。
- 全体を通じて、調べ学習をたくさん行っていたり、通常時と災害時とを写真で対比させていたり、避難訓練や防災講話の内容を盛り込んでいたり、さまざまな教育効果が伺える作品の割合が増えてきている。

表 ■ 彰 ■ 式

2014年1月25日(土)、東京・御茶ノ水の損保会館2階 大会議室で、第10回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰式が行われました。

また、今回は10周年を記念して、NPO 法人 気象キャスターネットワークにご協力いただき、受賞した子どもたち向けに体験型授業「空の教室」～自然災害から身を守ろう～を実施しました。



審査員長、各賞のプレゼンター、体験型授業の講師、代表児童、指導者の方々が全員揃って記念撮影 皆さん素敵な笑顔です



賞状を受け取る表情は、どなたも誇らしげです



インタビューでは、皆さん緊張しながらも、堂々と受け答えされていました



10周年記念 体験型授業「空の教室」～自然災害から身を守ろう～(NPO法人 気象キャスターネットワーク)



子どもたちと雲つくり実験をする気象キャスターの藤森さん



竜巻発生実験をする子どもたち

審 ■ 査 ■ 総 ■ 評



審査員長

むろさき よしてる
室崎 益輝 氏神戸大学 名誉教授
兵庫県立大学 特任教授

◆はじめに ～10年目を迎えて～

今年は、マップコンクールを始めて10年目となります。この10年の間、マップの中身はどんどん良くなっていますが、その素晴らしさはどこにあるのかということについてお伝えしたいと思います。

今回の作品全体に共通して言える特徴は、「3つの力」、「4つの学び」、「2つのお返し」ではないかと思えます。

◆「見抜く」「発想する」「繋がる」
という3つの力

まず、「3つの力」について申し上げたいと思います。

1つめの力は、「子どもたちの目の力」です。子どもたちは、確かな、嘘偽りのない素直な目で、しっかりと、そしてときにはとても厳しく、見抜く力を持っています。

2つめの力は、「子どもたちの自由なアイデア」です。この子どもたちの自由なアイデアが、この活動の鍵となっています。

3つめの力は、「人と繋がる力」です。子どもたち同士はもちろん、子どもたちと先生・指導者との繋がり、あるいは中高生のお兄さん・お姉さんとの繋がり、さらには地域の方々との繋がりなど、確かな、そしてあたたかい繋がりがあるからこそ、素晴らしい作品ができるのだと感じています。

◆「調べる」「測る」「尋ねる」「気づく」
という4つの学び

次に、「4つの学び」についてです。

1つめの学びは、「調べて学ぶ」です。今回の特徴は、まちなか探検をする前から本を読んだり、図書館に行ったり、先生に話を聞いたりして一生懸命調べていることです。これはとても大切なことです。

2つめの学びは、「測って学ぶ」です。ものさしで測ったり、計算機をたたいたりして、道具を使いながらはかるだけでなく、津波の高さと同じ青いのぼりを立てて子どもたちの身長と対比したり、自分たちの耳で防災行政無線のスピーカーの音声が実際に聞こえるか、聞こえないかを調べたりと、いろいろな方法で測ってみて、安全をチェックするという学びです。

3つめの学びは、「尋ねて学ぶ」です。消防団や警察、自治会など、地域のいろいろな方々と一緒に学び触れ合うことで、そこに交流が生まれます。これもとても素晴らしいことです。

4つめの学びは、「気づいて学ぶ」です。いろいろな地域を歩き回って、大人も気づかないようなことに子どもが気づいて学んでおり、これもとても大切なことと思えます。

◆「提案」と「実践」の2つのお返し

そして、子どもたちから地域への「2つのお返し」です。

1つめのお返しは、「提案のお返し」です。たくさんの素敵な提案があり、そういう提案をすることによって、地域社会にお返しをしているところがとても素晴らしいと思います。

また、2つめのお返しは、「実践のお返し」です。今回は、提案だけで終わらせず、自分たちで実践するという新しい取組みが生まれており、大変素晴らしく、また、うれしく思っています。

◆おわりに

～10万人の輪から、もっと大きな輪へ～

最後に申し上げたいことは、1万人の繋がりについてです。

今年度も1万人以上の子どもたちがこの活動に参加してくれました。とても大きな輪だと思っています。10年間では実に10万人の子どもたちがいろいろな形で学び、提案をしたこととなります。

ただ、日本には668万人の小学生がいます。もっと多くの子どもたち、できれば668万人のすべての子どもたちが参加してくれるような活動になることを心から願っています。



文部科学大臣賞

テーマ 防災

5,6年生 10名

あいなんちょう ふくうら
愛媛県愛南町立福浦小学校
「風の子サポーターズ」



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

昨年度の課題に取り組んで連続受賞となり、皆で大喜びしました。地域の中で津波警報が出たら、絶対に逃げられる自信ができました。マップ作りのおかげです。「自助」だけでなく「共助」の意識も高まりました。次につなげたいです。

指導された 松田 信さん

学校の活動にご協力して下さった地域や社会福祉協会をはじめとする関係諸機関の皆様のおかげで、このような素晴らしい賞をいただき、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。児童のマップ作りが、地域にいい風を吹かせています。

評価されたポイント

● 地域性・テーマ性

昨年度の活動中の「高齢者は高台まで避難できるのだろうか」という疑問を発展させ、「高い者避難時サポートマップ」というテーマを設定し、継続的に取り組んでいるところが素晴らしい。

● ビジュアル性

7つの避難場所ごとに、避難経路やコメント台紙の色を統一しているため、どの地域かがわかりやすく、とても見やすい。

● 提案性

子どもたちが実際に避難経路を歩いて所要時間を調べており、提案の説得力を高めている。

また、取組みを踏まえた提案を町長さんに行うことで、子どもたちの取組みが地域の改善に実際につながっているところがよい。

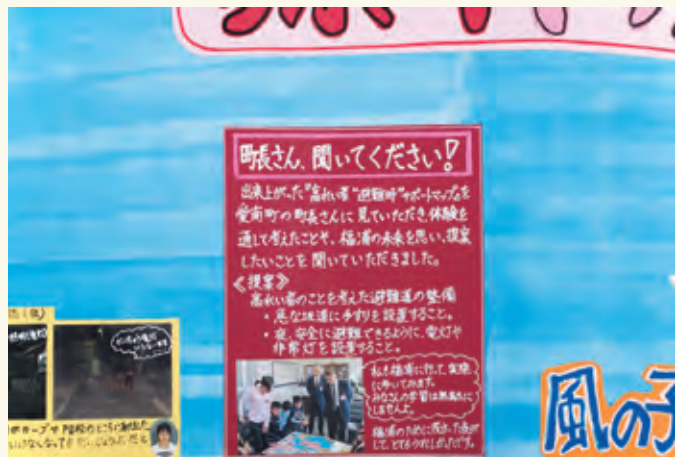
● 教育効果性

子どもたちが「避難サポーター」として、避難場所ごとに高齢者と避難体験をしたり、車椅子を使用したり、避難訓練を夜間に行ったりするなど、工夫を凝らした体験学習を行っている。子どもたちのまちなか探検により地域交流も深まっており、高い教育効果が感じられる。

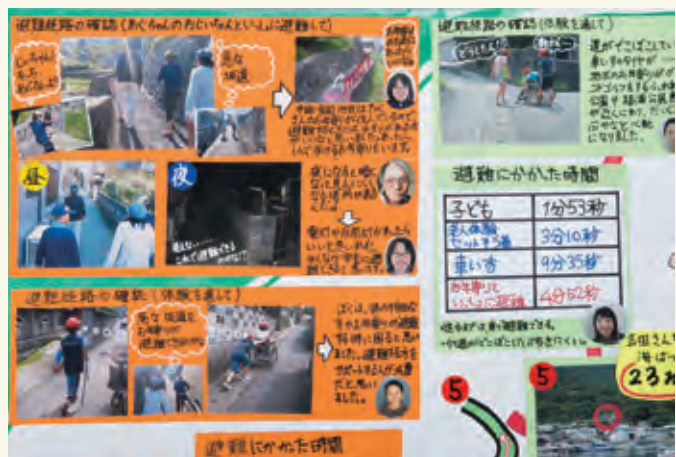
zoom up



zoom up



zoom up





防災担当大臣賞

テーマ 防災

5,6年生 4名

こもぶち
愛媛県宇和島市立蔭淵小学校

「矢が浜守り隊」



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

5・6年生が協力してマップ作りに取り組みました。そのマップが賞をいただいてとてもうれしいです。地域探索ではたくさんの新発見がありました。作ったマップが地域の皆さんの防災意識の向上に少しでも役立つとうれしいです。

指導された 三谷 裕子さん

校区の防災マップを作り続け、今年度は最後の地区のマップを作りました。この活動を通し、児童の防災意識も高まってきました。校区全体のマップを仕上げた喜びに受賞の喜びが重なり、とてもうれしく思っています。

評価されたポイント

● 地域性・テーマ性

前は海、後は山という地域の特性を踏まえた「津波・土砂災害危険お知らせマップ」は、この地域ならではのテーマであり、とてもよい。

● ビジュアル性

地域の危険箇所に関する部分と、標高に関する部分とを、ビニールシートを使って書き分けており、見やすい。また、写真も、海・土砂災害・避難経路・避難所別に色分けされた台紙に貼り、かつ危険箇所の説明を添えていることで、非常にわかりやすく、危険な様子が伝わってくる。

● 提案性

一人ひとりが提案を行っているところがよい。またその内容も、地域に若者が少ないことの気づきや、現在の避難場所が高齢者には避難しにくい場所であることの発見、ストーンガードや防潮堤の整備の必要性など、いずれも実際にフィールドワークを行い、自らの目で見て体験したことであるため、非常に説得力がある。

● 教育効果性

事前にアンケートや学習会を行っており、フィールドワークに深みを持たせている。また、フィールドワークを通じて、「知っていること」と「できること」の違いを学んでおり、非常に高い教育効果が感じられる。

zoom up



zoom up



zoom up



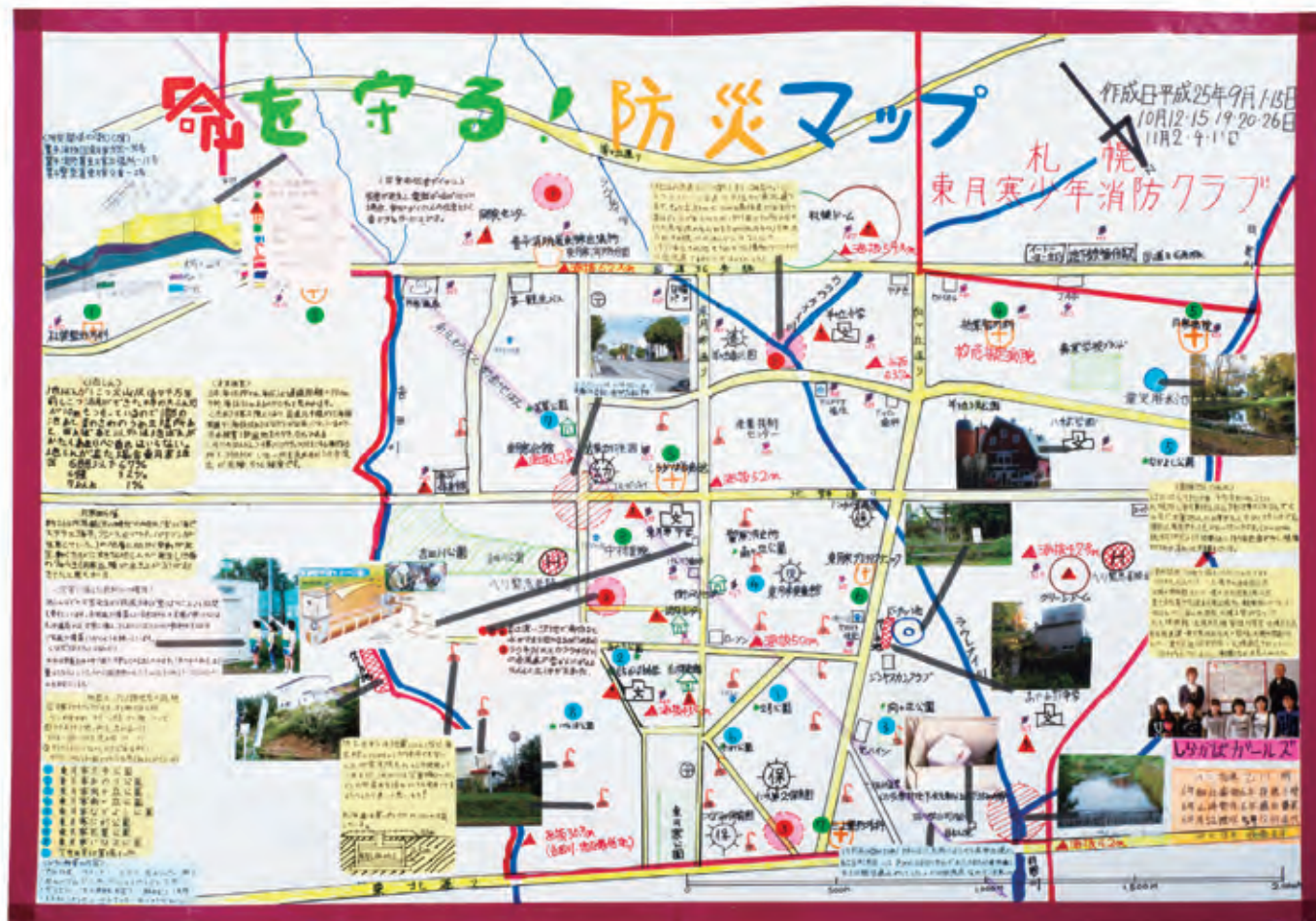


消防庁長官賞

テーマ 防災

5,6年生 6名

ひがしつきさむ
北海道札幌東月寒少年消防クラブ
「しらかばガールズ」



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

私達はこのマップ作りを通して地震、津波の恐ろしさを知り、他人ごとではないことを分ってほしいと思いました。マップ作りは大変でしたが、チームの団結を感じ色々なことを学んだので、良い思い出になりました。

指導された 乙川 明さん

住民からの聞き取り調査中、色々な事を教えていただいたクラブ員は、次から次へと疑問が湧き、その好奇心の旺盛には驚かされました。作成に10日間も費やし実に良く励んでくれ、完成後「楽しかった」と言ってくれたのが嬉しかったです。

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

「命を守る」をテーマに作られた防災マップであり、防災施設・設備のみならず、地質や断層まで調べている点がすばらしい。

また、アイヌ語による地名の解説がある点も、地域性が豊かではほほえましい。

●ビジュアル性

地図を全面に配置して描き、コメント等は色紙に記載して余白に貼り付けたことで、地図全体がとてもスッキリとしていて、見やすい。縮尺を最下部に入れている点も、活動した範囲の広さがよくわかる工夫といえる。

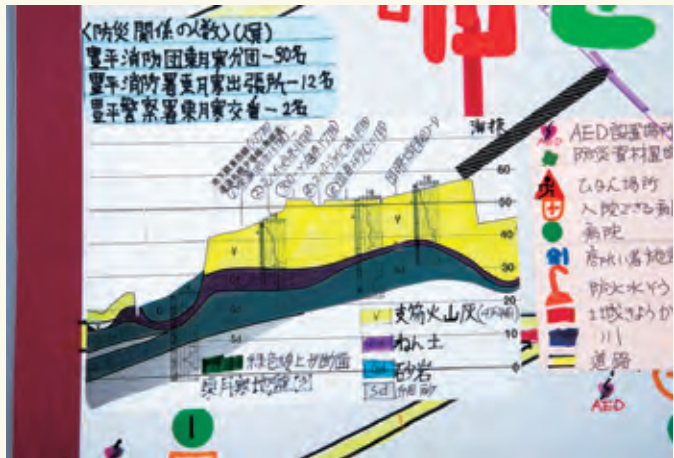
●提案性

家庭での飲料水の確保の大切さについて理由を添えて説明するとともに、「防火水槽の水を災害時の非常用生活水に活用できないか」などの提案も行っており、きちんとした準備・調査の成果が感じられる。

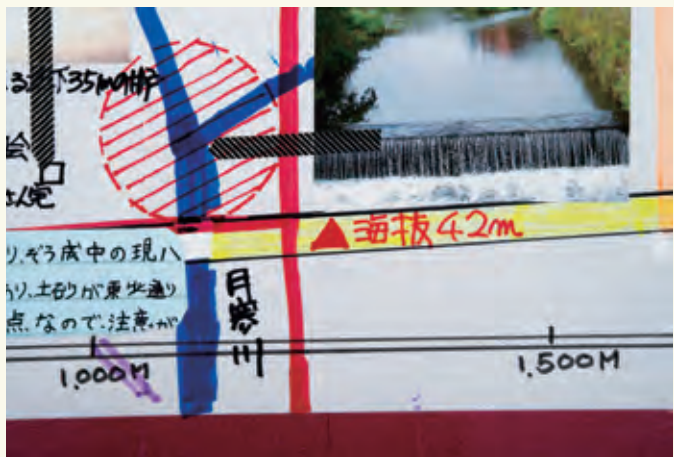
●教育効果性

まちなか探検で生じた疑問について、役所や消防、研究機関、地域のお年寄りなどに協力いただき、非常によく調べている。子どもたちの旺盛な好奇心が活かされている作品であるとともに、地域を巻き込んだ取り組みであることが強く感じられる。

zoom up



zoom up



zoom up





まちのぼうさいキッズ賞

(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

テーマ 防災

2~6年生 15名

三重県鳥羽市安楽島子ども会

「安楽島キッズ探検隊」



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

今回、みんなで手分けして作業するなど、みんなで協力することが多かったマップ作りでした。みんなで協力したから、賞がもらえたと、みんなの仲も良くなりました。このマップ作りは、すごく良い経験になりました。

指導された 藤村 力也さん

この度、素晴らしい賞を頂きありがとうございます。子供たちが楽しくタウンウォッチングをして地元の事を考え、MAP作りを通してこのような結果が出て大変嬉しく思います。これからも地域力を生かした活動をしたいと思えます。

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

地場産業のカキ養殖にスポットをあて、防災無線をテーマにしており、地域性豊かで、テーマ設定がおもしろい。

●ビジュアル性

防災無線の聞こえる地域と聞こえない地域とを、色分けしたシールで表現したところがわかりやすくてよい。船上やカキ養殖のイカダ上で撮った写真からも、子どもたちの活動の様子が伝わってくる作品である。

●提案性

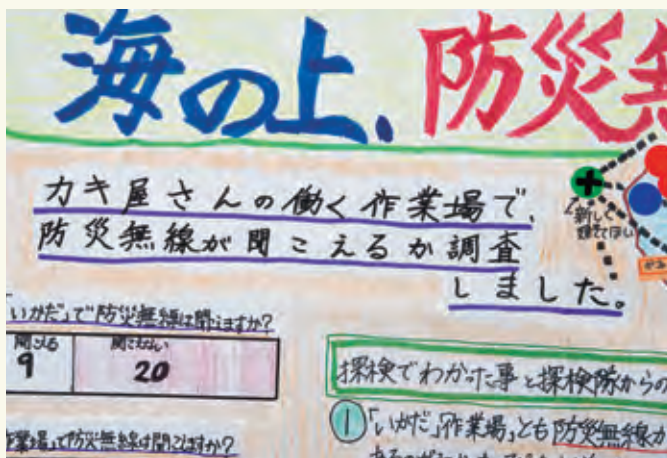
まちなか探検を通じてわかったことを踏まえ、行政に対し、防災無線の増設（2箇所）を提言している。加えて、作業場で働く方々のことを気遣い、携帯電話やラジオを携帯することを提案している点もよい。

●教育効果性

作業場で働く人に実際にアンケートを行っており、提案の説得力を高めている。

また、作業場で働く方々は子どもたちの両親や親戚、ご近所の方などであるが、作業場自体を子どもたちが見ることは少ないと思われ、地域への関心が高まった様子が伺える。

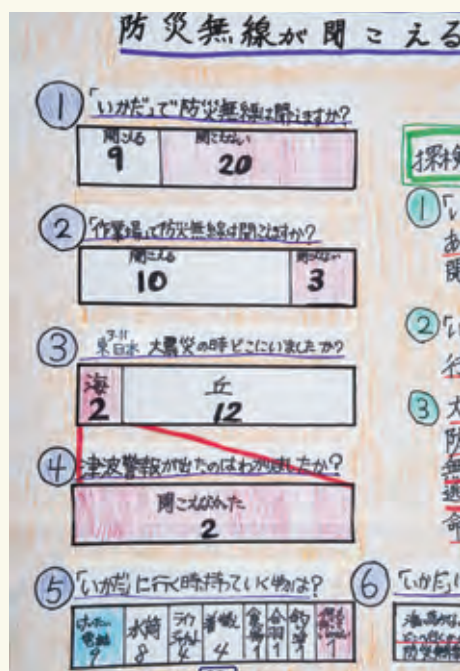
zoom up



zoom up



zoom up





未来へのまちづくり賞

(朝日新聞社賞)

テーマ 防犯・交通安全

1,2年生 2名

うえの
沖縄県宮古島市立上野小学校

「いみっちゃんフラワー」



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

初めてマップ作りをしました。夏休みのとても暑いときにいろんな所を歩いて大変だったけれど、こんなにいい賞をもらうことができずごくうれしいです。友達にもこのマップで危険な所や安全な所を教えてあげたいです。

指導された 守屋 理恵さん

多くの方々のご協力のもと、子ども達が頑張って完成させた作品がこのよう
な素晴らしい賞に選ばれた事を大変嬉しく思います。今回の受賞を通して、
危険の自己回避能力を身につける事の大事さを宮古島の多くの子ども達に伝
えたいです。



評価されたポイント

● 地域性・テーマ性

車社会であるという地域の実情を踏まえ、地域に1つしかない小学校の周辺を探検し、道路における危険について低学年の視点から整理するというテーマ設定がよい。

また、シーサーや石敢當(いしがんと)の写真なども貼っており、地域性が感じられる作品である。

● ビジュアル性

夜間も明るい道路と暗くなる道路について調べており、明るい所をピンクで、暗い所をグレーで色分けしているところがおもしろい。

また、子どもからの見え方ではなく、ドライバーから子どもたちがどう見えているのかを示すために実際の写真を貼付するなど、随所に工夫が感じられる。

インタビュー先を示すスマイルマークも低学年らしく、かわいらしい。

● 提案性

実際に小学校周辺を探検してみて、信号機が少ないことや、夜間道路が暗いことなどに気づき、信号機や街灯をもっと設置してほしいなど、日常生活に密着した提案を行っている点がよい。

● 教育効果性

たくさんの施設や商店にインタビューしており、そこから得られた気づきも多く、地域との連携が強く感じられる。また、自分の気づきを友達にも教えてあげるなど、学習の成果とその後の広がりが強く感じられる。

zoom up



zoom up



zoom up





わがまち再発見賞

(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

テーマ 防災

3～6年生 26名

みなでまなぼうさい 和歌山^{みはまちよう}県美浜町中央公民館
「ひまわり防災探険隊」



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

私達のチームは、「分かりやすく、見やすく作る!!」を目標にして作りました。見やすく工夫する所がとても難しく大変でした。でも、みんなの思いが一つとなった防災マップなので、これから、みんなの役に立ってほしいです。

指導された 椎崎 ひろ子さん

色々な立場の方にご協力いただき、より安全な場所をめざし発見していった子ども達。1mでも高く、1秒でも早く、にげてほしいという願いから完成した立体マップが入賞。喜びと共に、これからも「自分の命は自分で守る」子ども達であってほしい。



評価されたポイント

● 地域性・テーマ性

地震津波から命を守るために、「より高く、よりはやくにげよう」というテーマ設定が明確で、子どもたちからの強いメッセージが感じられる。

● ビジュアル性

危険の度合いにより地図を色分けするとともに、津波避難ビルを表現する際に、段ボール紙1枚を1mとして積み上げ立体的に表現するなどの工夫が見られる。

また、地域ごとの逃げる方向がわかるよう、地図中に矢印を記載しているところが良い。

● 提案性

一人でも多くの命を守るために、「高台までの安全な逃げ道がいくつもあるとよい」「備蓄食料が2日分では足りない」などの気付きとともに、バリアフリーの避難場所としてスポーツ公園を紹介するなど、実際にまちなか探検を行った経験を踏まえた力強い提案性が感じられる。

● 教育効果性

今回の取組みを通じて、「1秒でも早く、1mでも高く、そして自分から進んで逃げること」の大切さを学んでいる。作品の随所に散りばめられた「はやく」「高く」の言葉からは、子どもたちの非常に強い危機感とともに、非常に高い教育効果が感じられる。

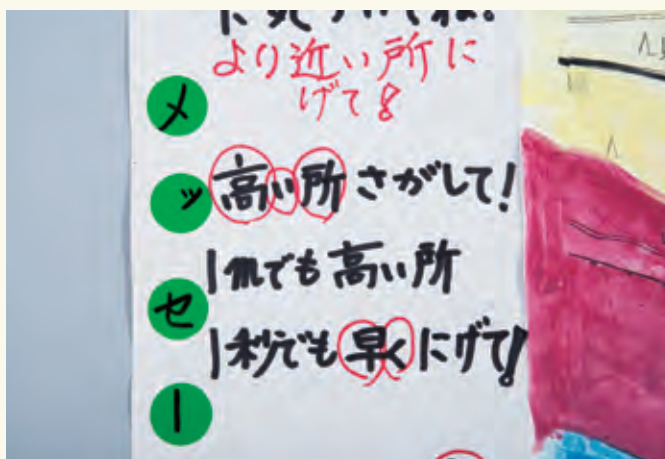
zoom up



zoom up



zoom up





ぼうさい探検隊賞

(日本損害保険協会賞)

テーマ 防災

4～6年生 28名

とうおん ひがしだに
愛媛県東温市立東谷小学校少年消防クラブ
「東谷少年消防クラブ」



VOICE 喜びの声



チーム児童のみなさん

探検をたくさんしたので、この賞がもらえて、とてもうれしいです。体育館や公民館で活動をしたこと、マップ作りについて緊張しながら発表したことが一番心に残っています。地域の人や友達と力を合わせて仕上げました。

指導された 佐伯 美穂さん

地域の皆様の応援のもと消防署や砂防出張所での学習から、校区探検に発展。市防災訓練にも参加して活動をパワーポイントで発表。素直でやる気いっぱいの子供達と楽しくマップ作り。人にも機会にも天候にも恵まれ、感謝です。

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

校区内を中央構造線が通るとともに、自然豊かであるがゆえに自然災害の危険にもさらされているという地域の実情がよく伝わってくる。

また、「限られた地域だけ調べても、みんなのためにならない」との子どもたちの意見を踏まえ、広い校区全体を調べている点もすばらしい。

水害・土砂災害を起こしたという龍伝説の記載も、地域性が感じられてよい。

zoom up

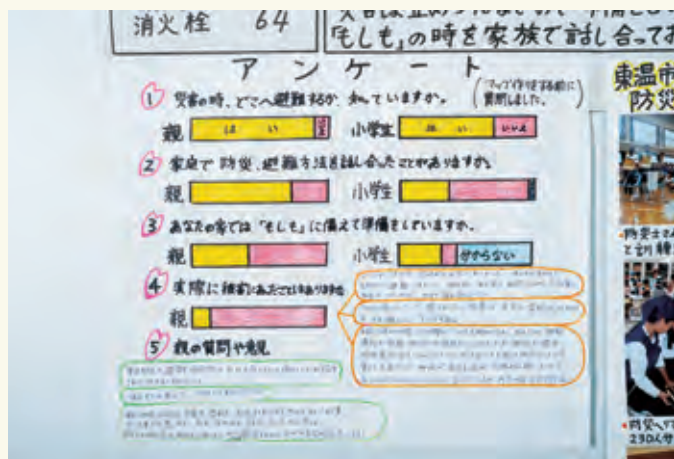


●ビジュアル性

地図の真ん中を走る中央構造線が目を引きとともに、記号や色を使い分けているため見やすく仕上がっている。

また、見学した際の写真にはコメントが添えてあり、非常にわかりやすい。

zoom up



●提案性

中央構造線の上に建物が建てられていること、砂防ダムが25個もあることに加え、土石流危険箇所が多すぎて書ききれなかったことは、大切な気づきである。まさに子どもたちが足で調べたハザードマップとして、この作品自体が重要な提案になっている。

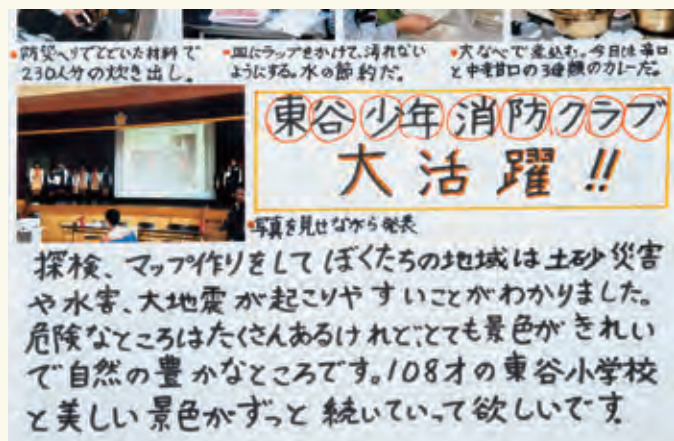
zoom up



●教育効果性

防災センターや砂防センターなどを訪問し、地域の方々からきちんと学習して多くの気づきを得ていることがわかる。アンケートを自分たちだけでなく親にも実施しており、意識の違いを比較している点も良い。

また、参観日や市総合防災訓練で発表もしており、高い教育効果が感じられる。





審査員特別賞

テーマ **防災**
3年生 11名

福島県相馬市川原町児童センター「みつばち防災探検隊」

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

児童センターのそばで火災が今年発生したことをきっかけとして、防火をテーマに児童センター周辺を探検しており、テーマ設定が明確である。

●ビジュアル性

まちなか探検で見つけた防火設備を色別シールで貼り、特に印象に残った設備にはコメント付きの写真も添付するなど、とても見やすい。

●提案性

ある地域に消火器がたくさん設置されていることに気づき、「他の地域でもたくさん設置したほうがよい」という感想は、地域に対する十分な提案になっている。

また、児童センター付近の住民に対して、子どもたちが防火に関するアンケートを実施したことで、地域住民に対する防火の意識付けにつながっている。

●教育効果性

今回のまちなか探検をきっかけに、自分たちにできることを学びたいという思いが芽生え、少年消防団を作ったという点から、子どもたちの地域への強い愛着が感じられる。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

近くでおきた火事がきっかけとなって作ったマップが賞をいただけてとてもうれしいです。火事の時に役に立つせびをさがしたり、アンケートをとったりしてためになりました。消防団を作ったので活動をつなげていきたいです。

指導された 永井 清美 さん

近隣で火災が発生した事をマップに取り入れ、少年消防団を結成し、実践活動に導いたことが認められて賞を頂けたのかと思います。将来の消防団員の育成に成果が出ることを祈り、子ども達と共に前進していきたいと思います。

テーマ **防犯・交通安全**
5年生 2名

茨城県日立市立金沢小学校「^{かねざわ}金沢元気キッズ」

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

通学路の安全をテーマとして、普段歩きなれた道を子どもたちの目線で点検しなおすことは、地域の安全・安心にとって、大変重要な取り組みである。

●ビジュアル性

地図部分を大きくするとともに、地図上の危険箇所を赤い点線で囲み、危ない理由を書いているため、大変見やすい。

また、交通量の多い道路と少ない道路とで道幅に強弱をつけているところにも工夫が見られる。

●提案性

「注意喚起の看板をわかりやすくしてほしい」「公衆電話が少ない」といった要望は、実際にまちなか探検をした子どもたちならではの具体的な提案となっている。

●教育効果性

通学路沿いにある消防署や信用組合、郵便局などを訪問し、インタビューを行っている。写真に写っている地域の方々の表情は穏やかであり、地域全体で子どもたちを見守っている状況がよくわかる。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

審査員特別賞に選ばれて、とてもうれしいです。私たちは、協力して楽しくマップを作ることができました。毎日通っている通学路でも危険がたくさんありました。このマップが地域の方々にも役立ってくれるとうれしいです。

指導された 高橋 正明 さん

今回のコンクールを本校で紹介したところ、2名の児童が夏休みに作成しました。猛暑の中、家族総出で協力して取り組む姿がとてもほほえましく印象的でした。「自分の命は自分で守る」ことをしっかり学べたコンクールでした。

テーマ **防 犯**
 3,6年生 5名

ガールスカウト千葉県第3団「西船 KIDS」

評価されたポイント

● 地域性・テーマ性

県民の憩いの場である公園のパトロールというテーマ設定が特徴的で、ガールスカウトならではの着眼点であると感じられる。

● ビジュアル性

パトロール箇所は虫眼鏡のアイコンで示しており、コメント部分も定型フォームに記載して地図周辺に貼り付けているため、作品全体がスッキリとしており、とても見やすい。

● 提案性

子どもたちが普段なにげなく遊んでいる公園の危険箇所を「見える化」しており、他の子どもたちに「意識することの大切さ」を伝えるメッセージとなっている。

● 教育効果性

「落書きをそのままにしておく」と落書きが増えてしまう」というコメントは、実体験に基づいて「割れ窓理論」に気づいたものであり、地域に対する愛着も感じられる。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

暑い時期の探検で大変でした。遊ぶのではなく安全や危険箇所を確認しながら、みんなで協力して広い公園を調べました。マップに記入するのが難しくて、完成まで苦労しましたが、すごい賞がとれてとても嬉しいです。

指導された 小山内 美礼 さん

事故や犯罪から子どもたちを守りたい。今回は防犯をテーマに掲げ、子どもたちが自ら考えて行動できるように、そんな願いを込めて探検やマップ作成に関わりました。受賞は地域へ発信する勢いをつけてくれそうです。

テーマ **防 災**
 1,2,4,6年生 8名

東京都立城南特別支援学校「城南すずらんグループ」

評価されたポイント

● 地域性・テーマ性

学校の近くを流れる多摩川流域の水害危険をテーマに選び、車椅子の子どもたちがまちなか探検を行っている。首都直下型地震への備えが課題となっているなかで、非常に強いテーマ性が感じられる。

● ビジュアル性

津波や洪水の浸水域を表すために、お花紙を貼って表現しているところがよい。

また、写真を撮影する際、浸水の高さを表す青いノボリ旗と一緒に撮影している点も、車椅子の高さととの対比がよくわかる工夫といえる。

● 提案性

車椅子で避難経路をまわっており、実際の避難時に移動が困難であることが強く伝わってくる。活動そのものが、車椅子の子どもたちが地域内で生活していることを地域住民に知らせることにつながっている。

● 教育効果性

まちなか探検を通じて、避難場所などの施設の位置をしっかりと確認するとともに、地域の施設を訪問して施設の役割を学習しており、実践的な防災学習となっている。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

2年連続の受賞うれしいです。私たちは、大地震がおき多摩川の水がはらんして、洪水になった時のことを考えマップを作りました。そこで、洪水がいつきてもおかしくないことを知ったので、川のことをもっとくわしく調べたいです。

指導された 田島 健二 さん

本校は多摩川が近く、氾濫した際には2～5mの浸水が予想されています。今回のマップ作りを通し、子どもたちは浸水の高さを実感し、洪水が起きたときはどうなるかを意識しはじめました。



審査員特別賞

テーマ **防災・防犯**
6年生 8名

神奈川県平塚市立八幡小学校「^{やわた}チーム・ハト」

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

「毎日安全なほくらの町」をテーマに、そのために何が必要かをきちんと考え、まちなか探検のほか、防災訓練にも参加しており、地域への愛着が強く感じられる。

●ビジュアル性

まちなか探検の際に何を探し、何を記載するかを予め考えているため、できあがった地図がとてもスッキリしており、見やすい。地図部分への記載にあたり、防火倉庫や消火栓などのマークをイラスト化している点も、見やすさへの工夫といえる。

●提案性

自治会長さんへのインタビューから、地域にお年寄りが多いことに気づき、消防団の手伝いができるよう「中学生サポート」の創設を提言している。まちなか探検やインタビューを踏まえた高い提案性を感じられる。

●教育効果性

防災倉庫に保管されている道具の使い方や、消火栓・消火器の使い方を記載しており、実践的な探検であったことがわかる。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

たくさんの応募の中から選ばれたことを知り、飛び上がったかき踊り出したりするほど、喜びました。私たちのマップを見てくれた人が「中学生サポートチーム」に入って一緒に活動したいと思ってくれたらうれしいです。

指導された 新倉 菜穂 さん

保護者の皆様、地域の方々から心から感謝いたします。地域を見つめよりよくしていこうと考えたことで、一層この地区に愛着を感じるようになりました。未来を担う子ども達がこれからも活動を続けてくれるよう願っています。

テーマ **防災**
6年生 5名

石川県かほく市子ども会 高松支部内高松子ども会「^{うちかまつ}チーム UTITAKA」

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

地域を大きな川が横切っており、たびたび氾濫を起こすことから、川の危険性や対策をテーマに設定している。テーマを絞った作品として、川の周囲を丁寧に調べており、高い目的意識が感じられる。

●ビジュアル性

緑を基調にしたマップは、目に優しく、大変見やすい。また、タンポを使った色づけは、自然な風合いで田園風景の写真ともマッチしている。

●提案性

「避難の際には危険な場所は通らない」「お年寄りや近所の人に声を掛ける」という提案は、実際にまちなか探検を行った経験を踏まえてのものであるため、強い説得力がある。

●教育効果性

過去の災害を事前に調べるとともに、住職さんから昔の水害の話を聞いたり、区長さんにインタビューをしたりするなど、教育効果が高い取り組みとなっている。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

審査員特別賞をいただき、本当にうれしいです。強い雨の中を歩き、身近にある川の怖さを実感しました。今回学んだことを忘れずに、地震だけではなく、水害にも気を付けたいです。

指導された 真田 明子 さん

素晴らしい賞を頂きありがとうございます。子供達はマップ作りを通して川の怖さを知り防災意識を高める事ができました。また地域の方々から御協力いただいた事により町への理解も深まり、有意義な活動となりました。

テーマ **防災**
 1~6年生 13名

せとまち 石川県かほく市子ども会 高松支部瀬戸町子ども会「瀬戸町子ども会」

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

大きな川に面しており、大半が低い地域にあるため、水没の危険性がある「自分たちの地域をどのように守るか」という目的意識が強く感じられる。

●ビジュアル性

地域が川沿いにあり、用水路などもたくさんあることが一目でわかる。マップの大半が水色で塗られていることで、氾濫の際には水没地域となることもよくわかる。

●提案性

避難所が水没する地域内にあることや、川にかかる橋を渡らなければ避難できないことなど、実際に自分の目で見て体験しなければ気づかない発見は、地域に対して強い警告となっている。

●教育効果性

まちなか探検・マップ作りの中で「一人暮らしの高齢者」を特に意識しており、子どもたちに共助の意識が芽生えていることが感じられる。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

地図を描いてみて危険なところや私たちの住む町がわかってよかったです。避難場所は、本当に災害があったら水没する地域に含まれていたので怖くなりました。住民を災害から守る一つのアイテムとして活用してほしいです。

指導された 高崎 政志 さん

今回の受賞、子供達も大喜びです。マップ作りを通し、町の特性や検討課題が見えてきたようです。また、実際にマップ作成期間中に大雨による河川増水を目の当たりにし、防災に対する危機意識が更に高まったように感じます。

テーマ **防災**
 3年生 16名

くちなた 福井県小浜市立口名田小学校「口名田小学校3年生」

評価されたポイント

●地域性・テーマ性

洪水から自分や家族の命を守るというテーマ性が明確である。一方で、タイトルに記載された「未来に残そう」に表されているとおり、川と共に生きていかなければならない子どもたちの川への愛着と畏怖が強く伝わってくる。

●ビジュアル性

川を中心に描き、上段に洪水のときに役立つものベスト4を、また、下段に1年間の学習の流れを整理している点が、作品を非常に見やすくしている。目印となる主な施設や橋を立体化しているところも、わかりやすく良い。

●提案性

活動期間中の8月に台風18号による被害を目の当たりにしたこともあり、「水害がいつ来てもよいように準備をしておきたい」という感想に説得力がある。

●教育効果性

半年間をかけて、まちなか探検だけでなく、着衣泳や川遊び、台風被害の調査などもあわせて行っており、川の怖さだけでなく、川のありがたさに気付いたことは、貴重な学びといえる。また、完成した作品を保護者や地域の方々へ発表しており、極めて高い教育効果が感じられる。



VOICE 喜びの声

チーム児童のみなさん

ぼうさいマップを作っている時、台風18号がやって来てひなんしたことがありました。とても良かったです。だから、こう水がおこってもみんなが安全でいられるようにと思って作りました。その作品が入賞して、うれしいです。

指導された 正木 啓敬 さん

「ぼうさい探検隊」の学習を通じて、身近な南川の危険な場所や施設を知り、防災意識を高めることができました。入賞は3年生にとって自信になったと思います。御世話になった地域の方、保護者の皆様ありがとうございました。

応募状況

表中の青文字は、入賞7作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
北海道	18	136	別海町立上春別小学校／札幌市立有明小学校／帯広希望の星 ふれあい教室／札幌市立西宮の沢小学校／もみじ台少年消防クラブ／札幌東月寒少年消防クラブ／札幌市立栄西小学校／室蘭市立陣屋小学校／浜中町立霧多布小学校／ボーイスカウト伊達第1団／札幌市南区川沿少年消防クラブ／札幌市立桑園小学校／札幌市立篠路小学校／豊平区月寒少年消防クラブ／旭川市立近文第一小学校／苫小牧市立拓勇小学校／札幌市立幌北小学校／苫小牧市立澄川小学校
青森	2	22	青森市立泉川小学校／五戸町立蛸川小学校
岩手	7	13	矢巾町立德田小学校 西徳田1区B子供会／紫波町立日詰こどもの家／やはば東こどもの家／ガールスカウト岩手県第14団／南仙北二・三丁目町内会子ども会／紫波町立水分小学校／山田町立山田南小学校
宮城	7	16	仙台市富沢児童館／ガールスカウト宮城県第1団／中山小おやじの会／七北田小学校親の会 七の川／大崎地域広域行政事務組合加美消防署／大崎市立鳴子小学校／仙台市立高森東小学校
秋田	4	8	観音堂地区子ども会／馬場崎町内子供会／よこてっこフットボールクラブ／男鹿市立船川第一小学校
山形	4	4	ボーイスカウト山形第43団／鶴岡市立渡前小学校／嶋北子供育成会／酒田市立泉小学校
福島	3	12	須賀川市立稲田小学校／相馬市川原町児童センター／いわき市立四倉小学校
茨城	4	17	やちよエコクラブ／日立市立金沢小学校／牛久市立牛久小学校／神栖市立矢田部小学校
栃木	1	2	ボーイスカウト鹿沼第4団カブ隊
群馬	6	29	大泉町北児童館 ひまわりエコクラブ／ガールスカウト群馬県第70団／かな小2-2 なかよし隊／佐波郡玉村町立玉村小学校／渋川市立渋川南小学校／高崎市立金古小学校
埼玉	12	161	川口市立芝児童センター／伊奈町立小針北小学校／春日部市立武里南小学校／川口市立新郷小学校／杉戸町立高野台小学校／草加市立清門小学校／八潮市立大瀬小学校／ボーイスカウトさいたま第101団カブスカウト隊／ボーイスカウトさいたま第104団／ボーイスカウト草加第3団カブスカウト隊／富士見市立水谷東小学校／上尾市立上平北小学校
千葉	22	169	浦安市当代島公民館／ガールスカウト千葉県第3団／ガールスカウト千葉県第20団レインボークローバーパトロール／グリーンゲートシティ子ども会／いすみ市立大原小学校／市原市立光風台小学校／印西市立小林小学校／印西市立六合小学校／柏市立酒井根東小学校／香取市立小見川中央小学校／香取市立神南小学校／大網白里市立白里小学校／千葉市立幸町第三小学校／千葉市立さつきが丘東小学校／千葉市立西小中台小学校／千葉市立若松台小学校／船橋市立習志野台第一小学校／松戸市立新松戸西小学校／松戸市立松ヶ丘小学校／睦沢町立土睦小学校／走れ！ 流小たんけんたい！／ボーイスカウト佐倉第3団カブスカウト隊
東京	65	360	目黒消防少年団／中野区立塔山小学校／麻布消防少年団／練馬区立大泉学園小学校／江戸川区立鹿本小学校／大田区立大森第一小学校／江戸川区立第二葛西小学校／目黒区立油面小学校／大田区立洗足池小学校／江戸川区立西小岩小学校／足立消防少年団／日野消防少年団／練馬区立南田中小学校／神田消防少年団／荒川消防少年団／文京区立指ヶ谷小学校／深川消防少年団／調布市立第一小学校／杉並区立天沼小学校／西東京消防少年団／清瀬消防少年団／小平消防少年団／石神井消防少年団／品川消防少年団



表中の青文字は、入賞7作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
東京	65	360	中野消防少年団／江戸川区立第三葛西小学校2年生チーム／ 東京都立城南特別支援学校 ／豊島区立富士見台小学校／江戸川区立第六葛西小学校／青梅消防少年団／東大和市立上北台公民館／新宿消防少年団／城東消防少年団／小岩消防少年団／荏原消防少年団／国分寺消防少年団／昌平一門前仲町 徒歩帰宅訓練隊／昭島消防少年団／北区立なでしこ小学校／多摩市立西愛宕小学校／野方消防少年団／多摩消防少年団／立川消防少年団／品川区立山中小学校／台東区立台東児童館／ボーイスカウト中野第8団カブ隊／足立区立伊興小学校／日本橋消防少年団／足立区立青井小学校／高輪消防少年団／葛飾区青戸小学校／小宮久保子供会／ボーイスカウト北第1団／千代田区立麴町小学校ワーク・わく・クラブ／小金井消防少年団／浅草消防少年団／新宿区立津久戸小学校／八王子市立由木西小学校／江戸川区立二之江第三小学校／あきる野市立増戸小学校／品川区立小山小学校 きよろちゃんチーム／牛込消防少年団／板橋区立志村第三小学校／芝消防少年団／江東区立毛利小学校
神奈川	18	234	横浜市保土ヶ谷区青少年指導員協議会 岩井町原地区／横浜市立あざみ野第二小学校／ボーイスカウト横浜第116団カブ隊／ 厚木市立清水小学校 ／厚木市立森の里公民館 地域子ども教室／相模原市立富士見小学校／ガールスカウト神奈川県第79団／海老名市少年消防クラブ／ 平塚市立八幡小学校 ／ガールスカウト神奈川県第63団／みやぎさだい さくらんぼの会／川崎市立富士見台小学校／相模原市立田名北小学校／王禅寺こども文化センター／ 宮前区子供会連合会・宮前地区少年消防クラブ・川崎市立向丘小学校 ／ ガールスカウト神奈川県第53団 ／横浜市立高田東小学校／座間探検隊
新潟	3	3	新潟市立上所小学校／塩沢金城わかば児童館／ 糸魚川市立根知小学校
富山	3	23	富山市立古里小学校／ 富山大学 人間発達科学部 ／高岡市立成美小学校
石川	57	68	加賀市立三木小学校／金沢市立花園児童館 フラワー・ママ花園／わくらっ子応援団／穴水町字大町地区 上出子ども会／かほく市子ども会(七塚支部 松浜みどり子ども会 ／ 外日角子供会防災キッズ ／ 高松支部 旭町子ども会 ／七塚支部 青空子ども会／宇ノ気支部 横山子ども会／宇ノ気支部 上山田子ども会／宇ノ気支部 宇気子ども会／宇ノ気支部 大橋子ども会／ 宇ノ気支部 狩鹿野子ども会 ／宇ノ気支部 上田名子ども会／ 宇ノ気支部 下山田子ども会 ／宇ノ気支部 旭町子ども会／宇ノ気支部 指江子ども会／宇ノ気支部 曙町子ども会／宇ノ気支部 本町子ども会／ 宇ノ気支部 向野子ども会 ／宇ノ気支部 森子ども会／宇ノ気支部 内日角(青空、青葉)子ども会／宇ノ気支部 谷子ども会／宇ノ気支部 大崎子ども会／ 宇ノ気支部 鉢伏子ども会 ／宇ノ気支部 中町子ども会／宇ノ気支部 七窪子ども会／高松支部 上伊丹町子ども会／高松支部 大海東部子ども会／宇ノ気支部 余地子ども会／七塚支部 ひばり子ども会／七塚支部 若草子ども会／七塚支部 木津よつば子ども会／ 七塚支部 はまなす子ども会 ／七塚支部 白百合子ども会／ 高松支部 古宮町子ども会 ／高松支部 下伊丹町子ども会／七塚支部 わかくさ子ども会／高松支部 六軒町子ども会／高松支部 ニツ屋子ども会／高松支部 岸川町子ども会／ 高松支部 中沼子ども会 ／高松支部 北新・北中町子ども会／ 高松支部 夏栗子ども会 ／ 高松支部 学園台子ども会 ／ 高松支部 南新町子ども会 ／高松支部 南中町子ども会／高松支部 流川子ども会／ 高松支部 内高松子ども会 ／高松支部 桜井町子ども会／高松支部 元町子ども会／ 高松支部 瀬戸町子ども会 ／ 高松支部 長柄町子ども会 ／高松支部 東町子ども会／高松支部 上北町子ども会／ 高松支部 双葉子ども会 ／七塚支部 外日角子ども会)

応募状況

表中の青文字は、入賞7作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
福井	9	30	越前市立武生西小学校／小浜市立口名田小学校／明新地区 キッズ探検隊／ ボーイスカウト武生第5団カブスカウト隊／坂井市立鳴鹿小学校／坂井市立大関小学校／ 坂井市立加戸小学校／坂井市立春江小学校／あわら市立波松小学校
山梨	1	1	ガールスカウト山梨県第19団
長野	3	25	安曇野防犯協会連合会／岡田児童センター／伊那市立伊那東小学校
岐阜	8	49	可児市立広見小学校／可児郡御嵩町立上之郷小学校／郡上市立西和良小学校／KYT／ 山県市立桜尾小学校／養老町立上多度小学校／岐阜市立木之本小学校／羽島市立正木小学校
静岡	21	181	ガールスカウト静岡県第24団／袋井市立浅羽東小学校／静岡市立清水興津小学校／ 伊東市立大池小学校／静岡市立清水飯田小学校／静岡市立清水江尻小学校／ ガールスカウト静岡県第76団／ガールスカウト静岡県第45団／藤枝市立藤岡小学校／ 静岡市立清水美保第一小学校／静岡市立賤機北小学校／静岡市新通学区子ども会連合会／ 焼津市立焼津西小学校／静岡市立井宮北小学校／浜松市立犬居小学校／チーム北矢部／ ガールスカウト静岡県第34団／西地区少年消防クラブ員／天竜区佐久間町地区少年消防クラブ／ 天竜地区少年消防クラブ／ボーイスカウト島田第6団ビーバー隊・カブ隊
愛知	20	95	飛鳥村子ども会連絡協議会／豊橋市立大崎小学校／ほのか小学校 則武学区連絡協議会／ 豊橋市立老津小学校／あま市立秋竹小学校／豊田市立足助小学校4年生／ ボーイスカウト小牧第1団カブ隊／瀬戸市立祖母懐小学校／ボーイスカウト春日井第10団／ 額田郡幸田町 東部子ども会／正木 KFG／名城キッズファイヤーガード／ 橘キッズファイヤーガード／常滑市立西浦南小学校／半田市立成岩小学校／BIG BRIDGE／ みよし市立中部小学校／ガールスカウト愛知県第73団／ボーイスカウト大治第1団／ 刈谷市立平成小学校
三重	9	33	かもっこ放課後子ども教室／あらっこ放課後子ども教室／鈴鹿市立若松小学校／ 鵜方少年消防クラブ／津市立栗真小学校／津市立北立誠地区 放課後児童クラブたつの子会／ 船越少年消防クラブ／伊勢市中央児童センター／鳥羽市安楽島子ども会
滋賀	7	19	わんぱくプラザ常盤 実行委員会／草津市立常盤小学校／河西学童クラブ室／ 野洲市社会福祉協議会 野洲第3・第4学童保育所／ガールスカウト滋賀県第35団／ わんぱくプラザ笠縫／玉川学区子ども体験合校「かきくけ防災学習」
京都	4	23	太秦こどもぼうさい土曜塾／たかつかさ児童館／京都市立砂川小学校／ 銅駝自治連合会と地域の子どもたち
大阪	16	42	清見台自主防災委員会／貝塚市立中央小学校／ガールスカウト大阪府第21団／ ボーイスカウト吹田第12団カブ隊／堺市立金岡小学校放課後ルーム／ 堺市立中百舌鳥小学校放課後ルーム／豊中市立東豊中中学校／豊中市立庄内小学校／ 堺市立西百舌鳥小学校放課後ルーム／ボーイスカウト豊中第14団／豊中市立東豊台小学校／ 堺市立三原台小学校放課後ルーム／堺市立浜寺昭和小学校放課後ルーム／ 堺市立東深井小学校放課後ルーム／百舌鳥小学校放課後ルーム／五箇荘小学校放課後ルーム
兵庫	11	60	姫路市立英賀保小学校／神戸市立若宮小学校／児童デイサービス すりーぷーす／ 放課後等デイサービス TRAMP／中筋児童館／ 伊丹市立人権啓発センター「ふらっと」児童館 土曜にじいろクラブ／三木市立吉川小学校／ 神戸市立有瀬小学校「ダークネス」／三木市立別所小学校／洲本市立由良小学校 防災たんけん隊／ 神戸市立たちばな児童館
奈良	4	4	ガールスカウト奈良県第43団／ガールスカウト奈良県第24団ジュニア部門／ ガールスカウト奈良県第12団／ガールスカウト奈良県第22団

表中の青文字は、入賞7作品・審査員特別賞8作品・佳作100作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	学校・団体名
和歌山	4	19	みんなでまなぼうさい 和歌山県美浜町中央公民館／熊野地区探検隊／新宮市立三輪崎小学校／かつらぎ町立丁ノ町児童館
鳥取	2	11	わくわく探検隊2013／米子市立和田小学校
島根	3	11	下熊谷ふれあい会／地域自主組織新市いきいき会／八日市地域づくりの会
岡山	2	5	茂浦・富崎子ども会／緑丘児童クラブ
広島	10	54	広島市立久地小学校／広島市立倉掛小学校／安芸高田市立小田東小学校／府中町少年少女消防クラブ／福山市立野々浜小学校／広島市立天満小学校／大竹市立栗谷小学校／大竹市立玖波小学校／大竹市立大竹小学校／大竹市立小方小学校
山口	5	22	下上探検隊／下関角小探検隊／下関市立角倉小学校／下関市立向井小学校／下関市立豊浦小学校
徳島	1	2	吉野川市立上浦小学校
香川	6	36	御殿子ども会／亀阜校区コミュニティ協議会／白方地区児童館／多度津地区児童館／高松市立牟礼南小学校／丸亀市立城辰小学校
愛媛	4	6	愛南町立福浦小学校／宇和島市立蔭淵小学校／東温市立東谷小学校少年消防クラブ／愛南町立船越小学校
高知	1	3	四万十町立興津小学校
福岡	3	13	今宿校区子ども会育成部会／八女市黒木少年消防クラブ／福岡市立八田小学校
佐賀	2	2	佐賀市立鍋島小学校／高砂団地自治会
長崎	2	6	さくらの里1丁目第1自治会／南島原市立深江小学校
熊本	3	3	古城クラブ／熊本市立黒髪小学校／熊本大学教育学部附属小学校・5年3組の二人
大分	3	4	佐伯市佐伯児童館／ひばり児童館／吉野育成クラブ
宮崎	5	28	延岡市立延岡小学校／こはと児童館・児童クラブ／延岡市立北浦小学校／ゆりかご一ヶ岡保育園／宮崎市立恒久小学校
鹿児島	4	31	出水市立高尾野小学校／奄美市立名瀬小学校／鹿児島市立小山田小学校／伊仙町立阿権小学校
沖縄	40	96	浦添市立まちなと児童センター／沖縄市福祉文化プラザ児童センター／東村立有銘小学校／那覇市壺屋児童館 チャレンジクラブ／那覇市大名児童館 ていぐまクラブ／みらい子育てネット こはぐら／那覇市久場川児童館／宮古島市立上野小学校／浦添市立浦城っ子児童センター／沖縄市あげだ児童館／南風原町立北丘小学校・第4学年2組／若草児童センター／宮古島市立池間添児童館／糸満市立糸満がじゅまる児童センター／若狭児童館／糸満市立糸満南小学校／浦添市立うらそえぐすく児童センター／石垣市立大浜小学校／沖縄市古謝自治会コスモス子ども会／役所前児童クラブ／糸満市立糸満小学校5年生／那覇市立銘苅小学校4-2／西原児童館／みどり町児童センター／西原町子ども会育成連絡協議会／那覇市城東小学校／北波平親子会／糸満市立兼城小学校・兼城ハイツ子ども育成会／糸満市立兼城小学校 阿波根／東風平小学校 PTA／学童クラブネバーランド(デンジャラス ボーイズ II)／おやこぼし学園／城辺学童保育クラブ／みなみ童夢／宮古島市学童連絡協議会 ひばり学童クラブ／なかよし学童／宮古島市立東小学校／浦添市立宮城ヶ原児童センター／宮古島市立伊良部小学校／国頭村立奥間小学校

小学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々が主体となって、「参考作品」としてこの活動にご参加されています。

過 ■ 去 ■ の ■ 入 ■ 選 ■ 一 ■ 覧

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第5回～第9回まで)

※「 」内はチーム名です。

参加団体数 マップ数・児童数	第5回(2008年度) 241団体 (143校・98団体) 1,235作品 9,322名	第6回(2009年度) 297団体 (155校・142団体) 1,389作品 9,954名
文部科学大臣賞	備前市立神香小学校 「神香レンジャーバスターズ」 (3・4年生/岡山県)	浜松市立久留女木小学校 「チューチュー久留女木隊」 (3・4年生/静岡県)
防災担当大臣賞	守山市ふけ町ふるさとクラブ 「ふけ町ふるさとクラブ夜回り隊2008」 (6年生/滋賀県)	三好市立佐野小学校 「佐野防災8」 (5・6年生/徳島県)
消防庁長官賞	鳥羽市安楽島こども会 「安楽島キッズ探検隊」 (6年生/三重県)	ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 (1・2年生/長野県)
まちのぼうさいキッズ賞	徳島市立富田小学校 「さわやかマップ隊」 (5年生/徳島県)	府中町少年少女消防クラブ 「府中町少年少女消防クラブ」 (3～5年生/広島県)
未来へのまちづくり賞	ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 (6年生/長野県)	守山市ふけ町ふるさとクラブ 「びわこスマイルガールズ2009」 (4年生/滋賀県)
わがまち再発見賞	別府市光の園子どもクラブ 「光の園安全隊」 (5年生/大分県)	高松市立栗林小学校 「みんな安心手だすけマスターズ」 (3年生/香川県)
ぼうさい探検隊賞	三好市立佐野小学校 「S. B. 8(さの・ぼうさい・エイト)班」 (5・6年生/徳島県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (5・6年生/三重県)
審査員特別賞	青森市沖館小学校 「三好のみんなを守り隊」 (4年生/青森県)	大崎市立三本木小学校防災探検隊 「三本木小学校防災探検隊」 (5年生/宮城県)
	石巻市立石巻小学校 「石小防災探検隊」 (6年生/宮城県)	日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「カブスカウト隊」 (3～5年生/埼玉県)
	相馬市立中村第二小学校放課後児童クラブ 「かもめ防災探検隊」 (3年生/福島県)	輪島市立鳳至小学校 「鳳至見守りキッズ」 (6年生/石川県)
	金沢市立森山町小学校 「金沢市立森山町小学校4年1組」 (4年生/石川県)	浜松市立伊平小学校 「伊平の安全守り隊」 (5・6年生/静岡県)
	浜松市立伊平小学校 「伊平安全パトロール隊」 (4・5年生/静岡県)	美方広域消防本部 BFC 香美町立佐津小学校 「命を守る佐津っ子レスキュー隊」 (4年生/兵庫県)
	香美町立小代小学校少年消防クラブ 「小代っこぼうさい探検隊」 (4年生/兵庫県)	愛南町立東海小学校 「岩水防災キッズ」 (5・6年生/愛媛県)
	愛南町立東海小学校 「岩水防災キッズ」 (5・6年生/愛媛県)	四万十町立興津小学校 「マタサカナ」 (6年生/高知県)
	四万十町立興津小学校 「オキトラ」 (6年生/高知県)	北九州市立広徳小学校 「広徳小学校4-1 2列」 (4年生/福岡県)



第7回(2010年度) 317団体 (160校・157団体) 1,607作品 10,291名	第8回(2011年度) 344団体 (158校・186団体) 1,643作品 10,791名	第9回(2012年度) 417団体 (213校・204団体) 2,018作品 13,477名
宇和島市立蔦淵小学校 「蔦淵キッズ5」 (6年生/愛媛県)	宇和島市立蔦淵小学校 「大島守り隊ガールズ」 (6年生/愛媛県)	愛南町立福浦小学校 「風の子ファイブ」 (6年生/愛媛県)
鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (2・4・6年生/三重県)	相馬市川原町児童センター 「みつばち・かもめ防災探検隊」 (3年生/福島県)	玉川消防少年団 「玉川消防少年団ぼうさい探検隊」 (4～6年生/東京都)
目黒消防少年団 「目黒消防少年団ぼうさい探検隊」 (1・3・4年生/東京都)	日本橋消防少年団 「阪本シスターズ」 (5年生/東京都)	高瀬少年消防クラブ 「6年生チーム」 (6年生/大分県)
相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 (2・3年生/福島県)	ガールスカウト日本連盟千葉県第3団 「ミラクルレインボー」 (5・6年生/千葉県)	那覇市立開南小学校 「いつでもどこでもえがおチーム」 (1年生/沖縄県)
日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「カブスカウト隊」 (3～5年生/埼玉県)	あわら市吉崎小学校 「吉崎赤手ガニ防災隊」 (4～6年生/福井県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (2～6年生/三重県)
高島市マキノ町地区子供会 「つじっ子防災探検隊」 (1～6年生/滋賀県)	那覇市久場川児童館 「いっぺいじょうとう」 (1年生/沖縄県)	大崎地域広域行政事務組合加美消防署 「宮城県カッパのふるさと色麻町」 (5年生/宮城県)
大崎市松山地域ぼうさい探検隊 「コスモスロード」 (5・6年生/宮城県)	別海町立上春別小学校 「上春キッズ探検隊」 (3年生/北海道)	日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「チームせんべい」 (5・6年生/埼玉県)
東海村立白方小学校 「仲よし3人組」 (4年生/茨城県)	東海村立白方小学校 「仲よし3人組」 (5年生/茨城県)	東京都立城南特別支援学校 「すずらんグループ」 (1～6年生/東京都)
あわら市金津小学校 「金津っ子7」 (5年生/福井県)	日本ボーイスカウト埼玉県連盟草加第7団 「カブスカウト隊」 (4～6年生/埼玉県)	あわら市本荘小学校 「本荘ガールズ8」 (5年生/福井県)
守山市ふけ町ふるさとクラブ 「びわこびよんぴよんスターズ2010」 (5年生/滋賀県)	目黒消防少年団 「目黒消防少年団」 (1～6年生/東京都)	あわら市細呂木小学校 「細呂木マモルンジャー」 (5年生/福井県)
吹田市立桃山台小学校 「桃小安全キッズ」 (3年生/大阪府)	ガールスカウト日本連盟長野県第34団 「もみじっ子防災探検隊」 (3～5年生/長野県)	船越少年消防クラブ 「船越少年消防クラブ」 (5・6年生/三重県)
かつらぎ町丁ノ町児童館 「ハッピーかつらぎっ子」 (6年生/和歌山県)	船越少年消防クラブ 「船越少年消防クラブまちなか探検隊」 (4～6年生/三重県)	かつらぎ町丁ノ町児童館 「かつらぎあんぜんキッズ」 (2年生/和歌山県)
下関市立豊浦小学校 「しものせきいしんたんけんたい」 (1年生/山口県)	城陽少年消防クラブ 「城陽少年消防クラブ」 (6年生/京都府)	下関市立豊浦小学校 「しものせきいしんたんけんたい」 (3年生/山口県)
高瀬少年消防クラブ 「高瀬少年消防クラブ」 (4年生/大分県)	土佐清水市立下ノ加江小学校 「なかよし4人組」 (5年生/高知県)	宇和島市立蔦淵小学校 「防災キッズ6」 (6年生/愛媛県)
那覇市久場川児童館 「のびのびクラブ」 (2年生/沖縄県)	奄美市立大川小学校 「奄美大川防衛隊」 (5・6年生/鹿児島県)	四万十町立興津小学校 「興空」 (5・6年生/高知県)



これまでの10年間のマップコンクールにおいて、継続的にご応募をいただいている小学校・団体(10回のうち6回以上のご参加)は以下です。

応募回数	学校・団体名
10回連続	愛知県豊田市立足助小学校
9回	福島県相馬市川原町児童センター／東京都江戸川区立西小岩小学校／三重県鳥羽市安楽島子ども会
8回	岩手県南仙北地区 南仙北2.3丁目子ども会／茨城県坂東市立中川小学校／ 神奈川県相模原市立富士見小学校／ガールスカウト大阪府第21団
7回	北海道札幌市立桑園小学校／東京都江東区立東川小学校／東京都江戸川区立第六葛西小学校／ 東京都千代田区立麴町小学校 ワーク・わく・クラブ／東京都大田区立洗足池小学校／ 東京都葛飾区立青戸小学校／ガールスカウト神奈川県第53団／ 神奈川県横浜市保土ヶ谷区青少年指導員協議会 岩井町原地区／ガールスカウト静岡県第34団／ 愛知県飛島村子ども会／広島県府中町少年少女消防クラブ／ 高知県四万十町立興津小学校／長崎県南島原市立深江小学校／
6回	ボーイスカウト山形43団カブスカウト隊ビーバースカウト隊／東京都調布市立第一小学校／ 東京都日本橋消防少年団／埼玉県草加市立小山小学校／埼玉県草加市立新田小学校／ 千葉県船橋市立習志野台第一小学校／神奈川県森っ子ひろば(森の里地区地域子ども教室)／ 神奈川県厚木市立清水小学校／ボーイスカウト富士吉田第1団ビーバー隊／ 福井県明新地区 キッズ探検隊／愛知県豊田市立五ヶ丘小学校／ 愛知県正木消防団キッズファイヤーガード／愛知県橋キッズファイヤーガード／ 京都府京都市立砂川小学校／香川県丸亀市立城辰小学校／ 宮崎県社会福祉法人ゆりかご福祉会 ゆりかごヶ岡保育園 学童クラブ／ 宮崎県延岡市立延岡小学校／鹿児島県出水市立高尾野小学校

今後ぜひ、定期的・継続的な活動として取り組んでいただければ幸いです。

一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	共栄火災海上保険株式会社	トーア再保険株式会社
アイペット損害保険株式会社	ジェイアイ傷害火災保険株式会社	日新火災海上保険株式会社
アクサ損害保険株式会社	セコム損害保険株式会社	日本興亜損害保険株式会社
朝日火災海上保険株式会社	セゾン自動車火災保険株式会社	日本地震再保険株式会社
アニコム損害保険株式会社	ソニー損害保険株式会社	日立キャピタル損害保険株式会社
イーデザイン損害保険株式会社	株式会社損害保険ジャパン	富士火災海上保険株式会社
エイチ・エス損害保険株式会社	そんぽ24損害保険株式会社	三井住友海上火災保険株式会社
SBI損害保険株式会社	大同火災海上保険株式会社	三井ダイレクト損害保険株式会社
a u 損害保険株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	明治安田損害保険株式会社

2014年2月現在(会員会社27社50音順)

一般社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 URL <http://www.sonpo.or.jp/>
(お問い合わせ) 生活サービス部 TEL : 03-3255-1294 FAX : 03-3255-1236



かけがえない環境と安心を守るために
一般社団法人日本損害保険協会は
ISO14001を認証取得しています。